

略 歴

氏名 鈴木 正三(すずき しょうぞう)

1. 職歴

1956年11月 日本写真印刷株式会社 入社
1956年11月 同 監査役
1957年11月 同 常務取締役
1959年11月 同 代表取締役社長
1991年6月 同 代表取締役会長 兼 社長
1992年4月 同 代表取締役会長
2007年6月 同 取締役名誉会長

2. 主な社外役職

京都商工会議所 常議員
社団法人京都経済同友会 参与
印刷工業会 常任理事
社団法人京都工業会 理事
学校法人立命館 理事
一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団 理事

3. 主な功績

鈴木正三は、日本写真印刷株式会社創業者・初代社長 故鈴木直樹が病に倒れたことを契機に、1956年の監査役(非常勤)就任を経て、1959年に代表取締役社長に就任しました。その後、半世紀以上にわたり比類なき貢献を果たしました。

1960年代には、従来の紙への印刷だけでは会社の成長に限界があるとの問題意識から、欧米の最新技術の導入などで研究開発に注力し、印刷技術の多様化と領域拡大を目指しました。これらにより、今日の産業資材事業とデバイス事業の礎を築きました。その功績からみて、まさに当社の中興の祖と言えます。

また、1966年3月期から28期連続の増収増益を達成し、1979年には東京証券取引所第一部へ上場を果たしました。1988年には、当時の皇太子殿下・同妃殿下(現在の天皇陛下・皇后陛下)の行啓を賜り、鈴木正三が目指した印刷技術の広がりの一例として、当時最新鋭であったIMD(成形同時加飾技術)をご視察いただきました。

また、事業活動とあわせて社会貢献活動にも関心を持ち、京都ロータリークラブの会長を1986年(昭和61年)7月から1年間務めました。近年では、私財を投じ「一般財団法人ニッシャ印刷文化振興財団」を設立。印刷文化・技術の継承と振興を図り、京都における印刷文化・技術の向上発展と産業・経済の発展に寄与することを目指しました。